

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-266890
(P2002-266890A)

(43) 公開日 平成14年9月18日 (2002.9.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
F 1 6 D 7/02		F 1 6 D 7/02	F 3 D 0 3 3
B 6 2 D 5/04		B 6 2 D 5/04	3 J 0 0 9
F 1 6 D 3/50		F 1 6 D 3/50	F
F 1 6 H 1/16		F 1 6 H 1/16	Z
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 9 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-70776(P2001-70776)

(22) 出願日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(71) 出願人 000001247

光洋精工株式会社

大阪府大阪市中央区南船場3丁目5番8号

(72) 発明者 岡 邦洋

大阪市中央区南船場三丁目5番8号 光洋
精工株式会社内

(72) 発明者 佐野 修

大阪市中央区南船場三丁目5番8号 光洋
精工株式会社内

(74) 代理人 100092705

弁理士 渡邊 隆文

Fターム(参考) 3D033 CA02 CA04 CA05

3J009 DA16 EA06 EA19 EA23 EA32

EB17 FA03

(54) 【発明の名称】 ジョイント及びそれを用いた操舵補助装置

(57) 【要約】

【課題】 電動モータの出力軸とこの出力軸によって回転駆動される回転軸とを、少ないスペースで安価に連結することができるとともに、回転軸の振動を減衰させることができ、しかも、出力軸又は回転軸の回転抵抗が異常に増加した場合に、両軸間の相対回転を許容することができるジョイント及びそれを用いた操舵補助装置を提供する。

【解決手段】 電動モータ6の出力軸60とウォーム軸70とをジョイント8を介して連結する。ジョイント8は出力軸60に取り付けられる筒状の第1伝達部材81と、これを包囲する筒状の第2伝達部材82との間に、ゴム等からなる筒状の弾性体84を介在している。前記第2伝達部材82bの回転を、トルクリミッタ85を介して、ウォーム軸70を連結した第3伝達部材83に伝達する。

